発展会計リリースのご案内

2026年8月27日

日本ビズアップ株式会社

目次

1.インボイス経過措置 控除可能割合見直しの対応

2.生成AI自動仕訳/汎用データ取込 複合仕訳対応

1．インボイス経過措置 控除可能割合見直しの対応～税区分の追加

内容

令和8年度税制改正における、インボイス発行事業者以外からの課税仕入への経過措置の見直しについて、控除可能割合の変更に対応しました。今回の対応で、新しく70%控除、30%控除の税区分が追加されます。

対応前

税区分	使用開始年月日
80%控除	2023年10月1日
50%控除	2026年10月1日
控除不可	2029年10月1日

各使用開始年月日以降も、それ以前の控除可能割合の税区分についても引き続きご使用いただけます。

対応後

税区分	使用開始年月日
80%控除	2023年10月1日
70%控除	2026年10月1日
50%控除	2028年10月1日
30%控除	2030年10月1日
控除不可	2031年10月1日

1. インボイス経過措置 控除可能割合見直しの対応～仕訳入力系

内容

各種仕訳入力系で、見直し後の控除可能割合に対応しました。各伝票日付が使用開始年月日以降の場合に各控除可能割合の税区分をご利用いただけます。また、インボイス事業者からの課税仕入の自動判定機能を使用している場合と、適格のチェックボックスを選択から未選択状態に変更した場合に、伝票日付に応じた控除可能割合の税区分に変換されます。

例.

伝票日付を2026/10/01にしたときに、

適格のチェックボックスを未選択にすると

税区分が「仕課内10」から「免70仕課内10」に変換され、消費税が再計算されます。

1. インボイス経過措置 控除可能割合見直しの対応～消費税計算書・集計表

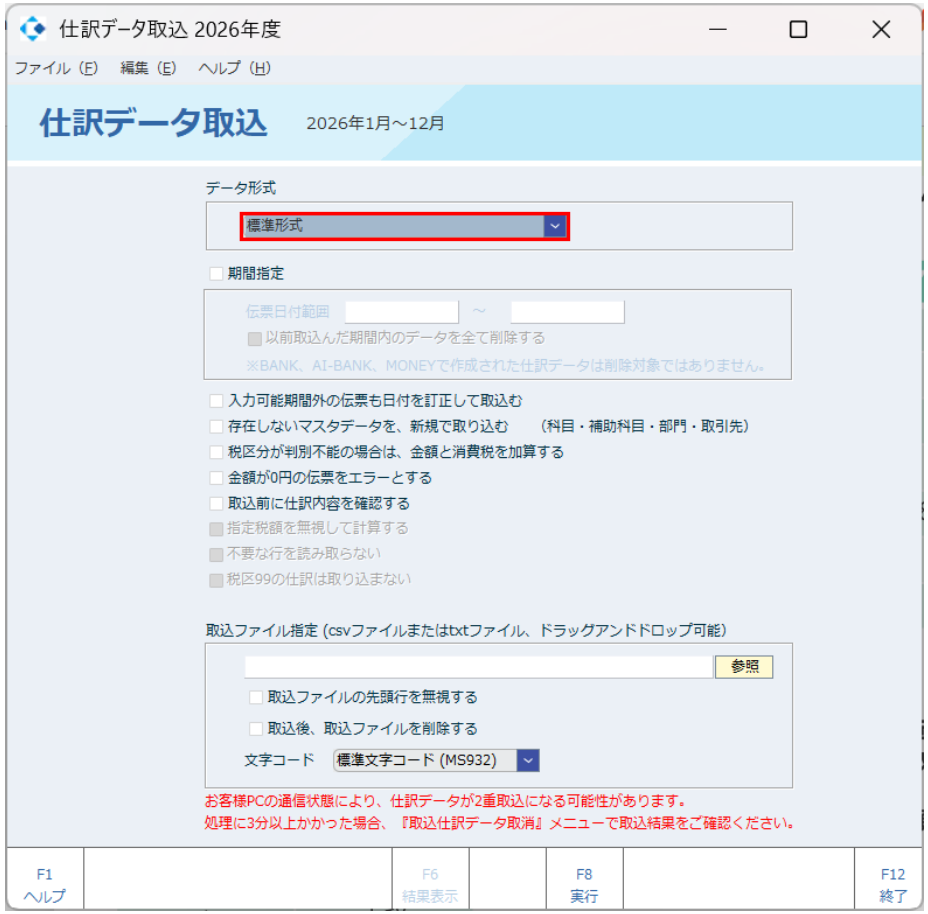
内容

消費税計算書・集計表において、見直し後の控除可能割合に応じて計算を行うように対応しました。

1. インボイス経過措置 控除可能割合見直しの対応～仕訳データ取込

内容

仕訳データ取込において、見直し後の控除可能割合に対応しました。なお、今回対応したデータ形式は、標準形式、弥生形式、財務応援 Liteになります。その他形式についても順次対応予定です。



標準形式において、取込csvの消費税率の末尾に「#」を指定して、免税事業者等からの課税仕入の税区分として取り込む際は、**「#」の数に応じて控除割合を判別いたします（以下表参照）**。

なお、取込csvの形式については、仕訳データ取込のヘルプページをご確認ください。

標準形式における、税率の免税指定の対応

税率末尾	控除割合	指定税率→取込税区分の例	
#	80%控除	10#	免80仕課内10
##	70%控除	8*##	免70軽仕課内8
###	50%控除	8*###	免50軽仕非内8
####	30%控除	10####	免30仕共内10
#####	控除不可	8***#####	免不軽仕軽内8

1. インボイス経過措置 控除可能割合見直しの対応～仕訳伝票

内容

仕訳伝票のCSV出力において、見直し後の控除可能割合に対応しました。前述の仕訳データ取込の標準形式と同様に、免税事業者等からの課税仕入の控除可能割合に応じて、税率の末尾に「#」が付与されます。

仕訳伝票csv出力における、税区分から出力される税率の対応

税率末尾	控除割合	税区分→出力税率の例	
#	80%控除	免80仕課内10	10#
##	70%控除	免70軽仕課内8	8*##
###	50%控除	免50軽仕非内8	8*###
####	30%控除	免30仕共内10	10####
#####	控除不可	免不軽仕軽内8	8*****

1．インボイス経過措置 控除可能割合見直しの対応～仕訳エクスポート

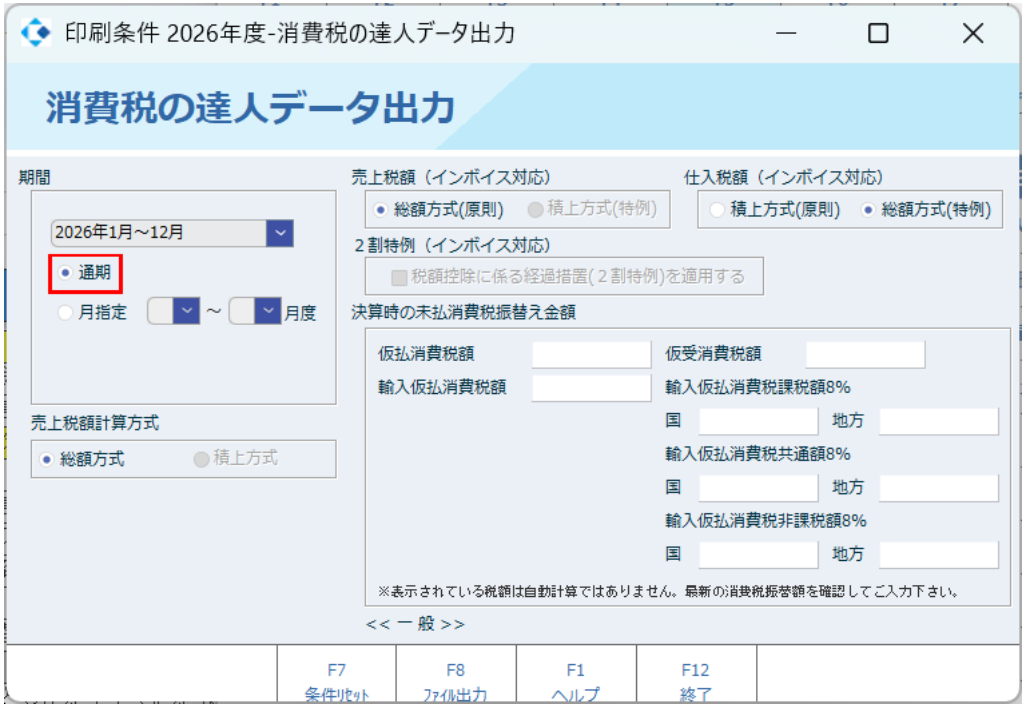
内容

仕訳エクスポートのCSV出力において、見直し後の控除可能割合に対応しました。今回対応した出力形式は、弥生形式、財務応援（EPSON）、日本ICS形式になります。その他形式についても順次対応予定です。

1．インボイス経過措置 控除可能割合見直しの対応～消費税達人データ出力

内容

消費税の達人データ出力・連動機能において、見直し後の控除可能割合に対応しました。なお、こちらの修正につきましては、消費税の達人データ側における経過措置の対応がリリースされ次第、ご利用頂けます。



2. 生成AI自動仕訳/汎用データ取込 複合仕訳対応

内容

生成AI自動仕訳・汎用データ取込が「複合仕訳」に対応しました。
1つの取引を複数の科目に自動で振り分けたい場合も、明細変換マスタに複合仕訳を設定しておくことで自動で仕訳を作成できるようになります。

2. 生成AI自動仕訳/汎用データ取込 複合仕訳対応

内容

自動仕訳変換マスタは連携元（口座）に「全て」が設定されている場合でも
対象メニューに「自動仕訳」を設定することで複合仕訳設定が可能になります。

2. 生成AI自動仕訳/汎用データ取込 複合仕訳対応

内容

生成AI自動仕訳　・領収書/レシート　・クレジットカード明細（明細の取引日で計上）※
・受領請求書　・発行請求書

※クレジットカード明細の指定日で計上取込は、複合仕訳の対象外

2. 生成AI自動仕訳/汎用データ取込 複合仕訳対応

内容

生成AI自動仕訳　・預金通帳　・出納帳

確認画面「F10複合」ボタンから複合仕訳の詳細を確認/変更することができます

2. 生成AI自動仕訳/汎用データ取込 複合仕訳対応

内容

汎用データ取込においても、自動仕訳変換マスタを参照して複合仕訳が自動で作成されます。